

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

自然の中で遊ぶ人がいます。(1) **オ** ハイキング、スキー、登山、乗馬など。これはとても良いことです。(2) **ア**、そういう時間や費用の余裕のない人もいるでしょう。(3) **ウ**、日常の仕事で疲れて体力が追いつかない人もいるでしょう。とはいえ、生活に活気を与えるためには、(4) **エ** 自然の中で体を動かすことは必要だと思います。(5) **イ** それが生物としての人間本来の姿だからです。

- ア でも イ なぜなら ウ また エ やはり オ たとえば
- (1) オ (例をあげる) (2) ア (期待と違う方向) (3) ウ (同じような内容を並べる)  
 (4) エ (どんなに事情があっても結局は) (5) イ (理由の説明)

■ 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～ケから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

道を歩いている。(6) **コ**、むこうから何か動物らしきものが迫ってきた。猫か、(7) **カ**、犬か。犬ならばプードルか、それとも秋田犬か。このようにして、人間は物事を認識する時に「分ける」ことから始めようとする。(8) **ケ** この際、人は言葉を使って物事を分ける。(9) **ク**、言葉には世界を分ける力があり、「言葉で分けること」は「物事を分けること」なのである。(10) **キ** 「**キ**」という英単語は「言う」という意味の以外に、「分かる、区別する」という意味も持つ。英語でも「分かる」に分ける「**キ**」なのである。

- カ あるいは キ ちなみに ク 要するに ケ しかも コ すると
- (6) コ (続いて起こったこと) (7) カ (どちらか考える) (8) ケ (大事な情報を加える)  
 (9) ク (まとめて言う) (10) キ (関連する内容をつづけて補う)

